

“思いやりの心による医療”を理念に

東京歯科大学 水道橋病院



水道橋畔発

第37号 令和5年6月

Content

水道橋病院副院長・歯科衛生士部長より

水道橋病院における歯科衛生士の活動

東京歯科大学水道橋病院副院長
新谷 誠康 (小児歯科部長)

矯正歯科

小児歯科

眼科

短期大学のご紹介

1p
2p
3p
4p
6p



水道橋病院副院長・歯科衛生士部長より

水道橋病院における歯科衛生士の活動

東京歯科大学水道橋病院副院長
新谷 誠康 (小児歯科部長)

私は 2022 年に水道橋病院副院長に就任しましたが、併せて歯科衛生士部長を拝命いたしました。今回は当院において活躍している歯科衛生士に関して、ご紹介したいと思います。

水道橋病院では、歯科衛生士は現在 43 名が勤務して各科に配属され、通常の診療補助業務はもちろん、医療安全業務や感染予防業務といった診療室を安全かつ清潔に保つための運営管理を担い、所属する診療科の専門業務に精通し、専門性を鑑みた業務を行っています。しかし、本病院に所属する歯科衛生士の業務の最も大きな特徴は「学生教育」と「口腔ケア外来の運営」に携わっていることです。

水道橋病院の歯科衛生士の通常業務とされるもの以外に、学生教育が業務に加わっています。本病院は東京歯科大学という歯科医学の教育機関の附属病院であり、高度な医療を行うと同時に学生や臨床研修歯科医等の教育病院としての機能を併せ持ち、多くのスタッフが学生教育を行っています。歯科衛生士も東京歯科大学学部学生、短期大学学生の教育に携わり、各科の外来において、その指導と管理を担っています。

また、本病院の特徴の一つである口腔ケア外来は、歯科医師の指示のもと、歯科衛生士がすべての業務を行っている専門外来です。各科から依頼を受けて、患者様の要望にあった口腔ケアを提案し、長期的

管理を行っています。歯周病の基本治療や治療後のメンテナンス、専門的な機械的清掃、フッ化物塗布など高度なプロフェッショナルケアを提供し、患者様の口腔健康維持のお手伝いを行うだけでなく、訪問診療に同行し、提携施設・病院および居宅の患者に対する口腔ケアにも力を入れています。その他、プロフェッショナルな口腔清掃を希望される方、御自分で口腔清掃が難しい方、インプラント処置後や矯正器具のため通常の方法では清掃が困難な方にもご利用いただいています。

当院の歯科衛生士はこのような多方面において活躍しており、その科に関連する学会の認定歯科衛生士資格取得を目指して研鑽を積んでいます。これからも、各科の歯科医療を担うスペシャリストの一人として、患者様と歯科医師の橋渡し役として、当院の理念である「思いやりの心による医療」を胸にますます活躍の場を広げていくものと考えます。当院に患者様のご紹介をいただく折には、患者様に歯科治療に関する疑問・質問・要望など、ご遠慮なくお近くの歯科衛生士にご相談いただくようお願い申し上げます。

なお、口腔ケア外来への患者様のご紹介は、口腔ケア外来宛の御紹介状を患者様にお渡しください。病院予診担当医が然るべき診療科と担当医を手配いたしまして、担当医より口腔ケア外来に依頼と指示が届くシステムとなっております。



矯正歯科

平素より水道橋病院矯正歯科への患者様のご紹介をいただき誠にありがとうございます。現在矯正歯科では診療にあたっては常勤歯科医師は12名であり、日本矯正歯科学会臨床指導医、指導医、認定医が在籍し、当学会の定める基本研修を修了した経験4年以上の者が担当しております。患者さまとの良好なコミュニケーションを大切に、安心、確実な医療の提供を目指しております。

【図1】 アンカースクリューを用いた臼歯の整直



【図2】 分析ソフトを使用したセファロ分析と治療シミュレーション



【図3】 矯正歯科診療室



【主な治療について】

矯正歯科では自費治療の一般矯正治療に加え、外科的矯正治療（顎変形症に対する手術を伴った矯正治療）、先天性疾患に対する矯正治療（口唇・口蓋裂や Down 症候群などの 60 の先天性疾患）などの保険診療にも対応しております。

【当科の特色】

当科では適切な診断・治療方針の担保のため、診断時に全症例において医局員全員で毎週症例検討会を行い治療にあっております。また口腔外科や小児歯科など他科との連携もとりやすいため、治療の選択肢が制限されずオールマイティな選択肢を患者様に提示できることが最大の強みです。早期治療、本格治療、MTM に対応し、小児に限らず全世代へのアプローチが可能です。また、講座で行っている臨床研究をフィードバックさせ、アンカースクリューを用いた矯正治療、カスタムメイドマウスピース型矯正治療、3Dシミュレーションなど最新の医療を提供することを心がけております。

【初診予約までの待機期間について】

近年での矯正歯科初診来院患者は約 1000 名、そのうち約 700 名と多くの患者様をご紹介いただいております。予約が大変混み合ってきておりますが、これまでは待機期間を設けずにご予約をとらせていただいております。しかし受診中のすべての患者様に安全で良質な医療を担保し続けるためにしばらく初診予約につきましては待機期間を設けさせていただいた上で順番に予約をお取りいただく運びとなりましたのでご報告申し上げます。日頃ご紹介いただいております先生方には多大なご迷惑をおかけいたしますがご理解賜りますようお願い申し上げます。

- 予約のために**まず矯正歯科受付 (03-5275-1724) へ患者様にお電話いただきます。**そこで予約待機についてのご案内をさせていただきますので、その旨を患者様にお伝えください。
- 待機期間は現状では4ヶ月ほどですが、状況に応じて変更していきます。
- お急ぎの患者様につきましては個別にご相談いただければと存じます。
- 待機していただくために**医療機関のご紹介状が必要**となっております。患者様にお渡しいただきますようお願い申し上げます。



小児歯科

【紹介患者様の状況】

当科は現在、日本小児歯科学会専門医指導医・専門医7名を含む24名の歯科医師が、歯科衛生士とともに日々の臨床に取り組んでおります。コロナ禍の影響が大きかった2020年度を除き、近年は年間1,000～1,200名の新規の患者様が当科に来院しておられますが、そのうち75%程度が紹介状を持って受診されています。いつも多くの先生方に当科をご紹介いただき、感謝申し上げます。

来院される患者様の主訴で最も多いのは、現在でもやはり重症齲蝕や齲蝕治療への協力が得られないというものです。トレーニングや齲蝕進行抑制から始めることが多いですが、歯科麻酔科と連携した全身麻酔下での治療や、やむを得ない場合は抑制下での治療が選択されることもあります。そのほか、歯列不正、過剰歯や先天欠如などの歯数異常、外傷などを主訴とする患者様が来院され、多様なニーズに対応して

おります。近年は外国籍の患者様も増加傾向にあり、流暢とは言えませんが英語での対応も行っています。今後とも、小児の患者様でお困りの時はご相談いただけますよう、お願い申し上げます。

【専門治療】

当科から情報発信する機会が多いこともあり、エナメル質・象牙質形成不全を有する患者様が多く、長期的な対応を行っております。また、骨形成異常とともに乳歯の早期脱落が特徴である低ホスファターゼ症についても、多くの症例を診察している歯科医師が在籍しており、医科との連携や早期脱落への対応を行っております。

【研究活動】

新たな技術や材料など、小児歯科を取り巻く環境にも変化が見られます。より良い治療を提供するため、MTAセメントを用いた乳歯・幼若永久歯の治療や、CAD/CAMによる歯冠修復、保険装置の作製などにも取り組んでいます。

【図1-a】 見たい動画を選べるタブレットを設置



【図1-c】 タブレットを用いた診療の様子



【図3】 顕著な形成不全のある幼若第一大臼歯の治療 (成長終了までの暫間修復)



【図1-b】 ラバーダム防湿を説明する動画



【図1-d】 個室診療ユニット



【図4】 低ホスファターゼ症を有する3歳児



【図2】 重症齲蝕の治療





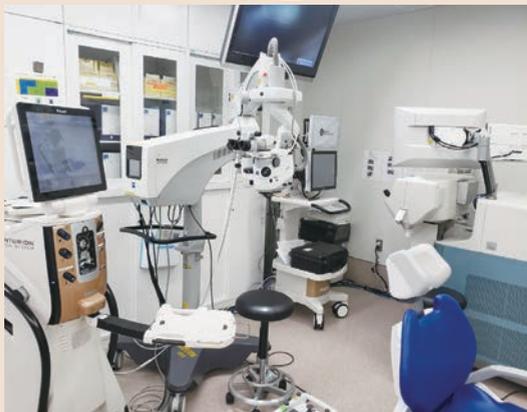
眼科

当科は 2000 年に創設され、ビッセン弘子（特任教授）が主導し、多焦点眼内レンズやフェムトセカンドレーザーといった白内障手術の最先端技術をいち早く導入し、学会や論文等を通じて国内での発展に貢献してきました。

診察室



オペ室



待合室



【外来・手術】

現在は、常勤医師 3 名（ビッセン弘子、太田友香、上原朋子）と、非常勤医師 3 名（井上真臨床教授 / 杏林大学主任教授、中村邦彦臨床教授 / たなし中村眼科院長、吉野真未臨床講師 / 飯田橋眼科クリニック院長）で診療しております。白内障 / 屈折矯正、緑内障、網膜の専門外来のほかに一般外来も行っております。緑内障外来は昨年より太田講師（慶應大学特任助教）が立ち上げ、点眼・レーザー・外科的治療まで当院で対応可能となりました。

手術は外来手術のみで、白内障手術のほかに、LASIK や ICL といった屈折矯正手術、緑内障や網膜手術と幅広く対応しておりますので、先生方の患者様のなかに眼科疾患でお困りの方がいらっしゃいましたらお気軽にご紹介いただけましたら幸いです。紹介患者様に関しては、講師以上が対応させていただきます。

外来担当医表

	月	火	水
午前	一般外来 上原 吉野(月1回)	白内障・屈折矯正 ビッセン宮島	一般外来 太田・上原
午後	手術 白内障・屈折矯正 眼瞼下垂	白内障・屈折矯正 ビッセン宮島	緑内障 太田
	木	金	土
午前	一般外来 太田・上原 網膜硝子体 井上(月1回) 白内障・屈折矯正 中村(月2回)	一般外来 太田・上原	一般外来 (第1・3・5) 太田・上原(交代制)
午後	手術 白内障・屈折矯正 網膜硝子体 緑内障	緑内障 太田	

【研究】

これまで多焦点眼内レンズに関する内容を軸に様々な研究を報告してまいりました。本年も新たに複数の研究を開始しております。その中の一つをご紹介します。

当科が歯科大に併設されている特徴から、歯科の先生方にも多焦点眼内レンズを使用させていただく機会が多くあります。口腔内の詳細な観察や治療が要求される歯科の先生方に対して、多焦点眼内レンズの使用に不安をもつ眼科医がいらっしゃいます。そこで、歯科の先生方にもご協力いただき「歯科医師における多焦点眼内レンズ挿入後の視機能」という研究を行い、多焦点眼内レンズの良好な結果が確認できましたので、今後、学会で報告していきたいと思っております。

病院長	山下 秀一郎	東京歯科大学水道橋病院 診療科担当医ご案内(レギュラースタッフ)	令和5年6月1日現在
副病院長	鳥山 佳則		
副病院長	古澤 成博		
副病院長	新谷 誠康		

診療科名	職名	氏名	講座名
保存科	部長・教授	古澤 成博	歯内療法学
	客員准教授	河野 誠之	
	講師	(山田 雅司)	
	助教	佐宮 亮己	
	助教	鈴木 穂香	
	レジデント	中北 島彩花	歯周病学
	レジデント	高橋 玲子	
	レジデント	江奈 穂	
	教授	古澤 誉彰	
	教授	齋藤 淳太郎	
	医局長・講師	今村 健太郎	保存修復学
	講師	勢島 典	
	助教	山下 慶子	
	助教	北村 友里恵	
	助教	齋藤 佳美	
レジデント	安藤 麻友里	老年歯科補綴学	
レジデント	原田 怜音		
レジデント	岡村 眞理		
レジデント	岡本 静香		
レジデント	小久保 楓香		
教授	村松 敬	クラウンブリッジ補綴学	
准教授	杉戸 博記		
講師	春山 亜貴子		
助教	半場 秀典		
助教	石塚 久子		
レジデント	中野 岳志	パーシャルデンチャー補綴学	
レジデント	野村 知史		
教授	野村 知史		
教授	上田 正貴		
准教授	亀 正史		
補綴科	講師	高野 智史	口腔インプラント学
	助教	太田 緑壮	
	助教	齋藤 晃裕	
	教授	石田 和真	
	教授	関根 秀志	
	名誉教授	佐藤 亨	口腔健康科学
	准教授	野本 俊太郎	
	講師	四ツ谷 護	
	助教	酒井 貴徳	
	助教	木悠 太穂	
	レジデント	黒田 祥瑞	口腔放射線学
	レジデント	平野 瑞文	
	レジデント	岡野 文佳	
	レジデント	河津 里香	
	レジデント	佐藤 真紀	
部長・教授	荒井 春乃	病理学	
部長・教授	山下 秀一郎		
医局長・准教授	田坂 彰規		
客員准教授	堀田 宏巳		
講師	大平 真理子		
口腔外科	助教	加藤 芳美	口腔顎顔面外科学
	助教	鎌田 聡仁	
	助教	岡野 日奈	
	助教	伴野 圭太	
	助教	小林 裕	
	レジデント	小池 彩音	口腔病態外科学
	レジデント	藤田 尚志	
	レジデント	中村 領杜	
	レジデント	高野 正彦	
	レジデント	柴原 孝加	
	客員教授	高木 多加志	口腔病態外科学
	医局長・准教授	高渡 章	
	講師	(吉田 秀児)	
	講師	大野 啓介	
	講師	森川 貴迪	
助教	加藤 宏晴	口腔病態外科学	
助教	有林 宰央		
レジデント	小原 身知子		
レジデント	小坂 悠樹		
レジデント	村松 賢太郎		
部長・教授	片倉 朗	口腔病態外科学	
病院教授	笠原 清弘		
准教授	菅原 圭亮		
講師	西山 明宏		
助教	星野 照秀		
助教	小山 侑	口腔病態外科学	
助教	小谷 地雅秀		
助教	二階堂 純彦		
レジデント	小川内 香帆		
レジデント	中西 将大		
レジデント	秀島 樹		

診療科名	職名	氏名	講座名	
歯科麻酔科	部長・准教授	(小半 鹿恭太郎)	歯科麻酔学	
	部長代理・講師	俊之		
	医局長・講師	吉田 香織		
	助教	手島 麻子		
	助教	齋藤 菜月		
矯正歯科	レジデント	津谷 瑠理	歯科矯正学	
	部長・教授	西井 康二		
	客員教授	末石 研二		
	短大教授	片田 英憲		
	准教授	石井 武展		
	医局長・講師	立木 千恵		
	講師	有泉 大		
	助教	西村 達郎		
	助教	戸村 拓真		
	助教	市川 江里佳		
小児歯科	レジデント	林 優希	小児歯科学	
	レジデント	原崎 ひとみ		
	レジデント	大澤 雄一郎		
	レジデント	太田 健太郎		
	レジデント	都丸 宏実		
小児歯科	部長・教授	新谷 誠康	小児歯科学	
	講師	辻野 啓一郎		
	医局長・講師	櫻井 敦朗		
	講師	本間 宏実		
	助教	棚瀬 稔貴		
小児歯科	助教	濱口 翔一	小児歯科学	
	レジデント	丹羽 佳世子		
	レジデント	田中 康裕		
	部長・准教授	佐々木 穂高		口腔インプラント学
	医局長・講師	平野 友基		
助教	小田 由香里			
助教	浅見 洋佑			
助教	飯島 典子			
口腔インプラント科	レジデント	角田 航	口腔インプラント学	
	レジデント	原田 惇朗		
	レジデント	重松 正樹		
	レジデント	頼岡 廣明		
	レジデント	鈴木 航		
スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック	科長・教授	福田 謙一	口腔健康科学	
	病院教授	大多和 由美		
	医局長・講師	野口 智康		
	助教	加藤 栄助		
	助教	添田 萌		
健康スポーツ歯科	レジデント	野末 雅子	口腔健康科学	
	レジデント	廣瀬 詩季		
	科長・教授	中島 一憲		
	レジデント	阪上 隆洋		
	レジデント	筒井 新晋		
摂食嚥下リハビリテーション科	科長・教授	石田 瞭	口腔健康科学	
	准教授	大久保 真衣		
	医局長・講師	野口 智康		
	レジデント	芳村 竜秀		
	レジデント	後藤 多津子		
放射線科	部長・教授	野末 雅子	歯科放射線学	
	客員教授	岡野 友宏		
	准教授	和光 衛		
	医局長・講師	音成 美佳		
	講師	(小高 研人)		
放射線科	助教	佐藤 仁美	歯科放射線学	
	助教	松元 秀樹		
	助教	和田 大岳		
	部長・教授	松坂 賢一		病理学
	客員教授	橋本 貞充		
准教授	國分 克寿			
講師	中島 啓			
助教	明石 良彦			
内科	科長・准教授	山岸 由幸	内科	
	准教授	仁科 牧子		
眼科	科長・特任教授	ピッセン 弘子	眼科	
	医局長・講師	太田 友香		
助教	上原 朋子			

()長期出張中



短期大学のご紹介

平素より、本短期大学へ歯科衛生士求人をしていただきありがとうございます。多くの求人を頂戴しながら就職に繋がらないとお声をいただき心苦しい限りですが、1学年 50 名定員に対し、毎年 1000 件以上の求人をしていただいている現状からご容赦いただきたく存じます。

本短期大学の起源は昭和 24 (1949) 年にわが国最初の歯科衛生士養成機関として開設された東京歯科大学歯科衛生士学校に遡ります。その後、昭和 51 (1976) 年に専修学校としての設置認可を受けた東京歯科大学歯科衛生士専門学校が、千葉キャンパスへの移転、修業年限 3 年制への移行を経て、平成 29 (2017) 年に水道橋校舎 14 階(最上階)に開学しました。専門学校を含めると 2,500 有余名の卒業生を社会に送り出し、歯科衛生士国家試験はこれまで合格率 100%を維持しています。

さらに、令和 2 (2020) 年には、4 年制大学と同等の学位取得を目指す専攻科 (歯科衛生学専攻) を設置しました。専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた定員 10 名の 1 年制の学科で、歯科衛生士免許取得後、指定単位を修得の上、学習成果レポートの提出、試験を受け、合格すると学士 (口腔保健学) が授与されます。現在、3 期生までの修了生を輩出していますが、全員が無事に学位取得に至っています。

本短期大学は、開学時から「医科疾患患者への歯科衛生」「専門職間の連携活動論」という独自の科目を取り入れ、令和 5 (2023) 年度からは歯科衛生士養成機関としては

初めて「臨床栄養学」の専門科目を開講しています。また、東京歯科大学市川総合病院の臨床実習に力を入れており、ここでの実習を通じて地域包括ケアシステム、チーム医療、多職種連携の重要性を学び、これまで専門学校で行ってきた教育体制からさらに充実した教育カリキュラムを展開しています。歯科衛生士養成機関は、少子化により都内の学校も定員割れが出ている現状ですが、おかげさまで本短期大学はこれまで定員を充足しております。歯科衛生士を志望する方がいらっしゃいましたら、ぜひ本短期大学をご紹介いただければ幸いです。今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



実習室



実教室



東京歯科大学 水道橋病院

住所 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18

電話番号 03-3262-3421 (代表)

ホームページ <http://www.tdc.ac.jp/sh/>



東京歯科大学水道橋病院

検索

編集後記

2023年度より水道橋畔発の編集長となりました、クラウンブリッジ補綴学講座准教授の野本俊太郎と申します。これまでに東京歯科大学の千葉病院から水道橋病院と、それぞれ約10年ずつ勤務しております。私の専門は審美補綴と接着歯学なのですが、現在は3DプリンターやCAD/CAMを活用した診療や講演が増えており、デジタル歯学という分野が第三の柱になろうとしております。これからも近隣歯科医院の先生方に、本院の魅力や有益な情報をお届けできるよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(野本 俊太郎 記)